

プロフィール



名前	樋口 雅司
所属部署	鳥取大学農学部 獣医生化学研究室
職種	講師
この研究室に入った日	2015. 12. 1
出身地	東京
趣味	馬術

インタビュー

Q1 現在の研究内容は？

下垂体の幹細胞が分化してホルモン産生細胞になるメカニズムの解明を目指しています。ある状態（妊娠等）の時に必要な下垂体ホルモンがどうやって過不足なく供給されているかに興味があります。また、獣医学科なので動物の遺伝性疾患の新規治療法の開発も行っています。ラット中心ですが、最近やっと牛の下垂体を扱い始めました！

Q2 研究者（教員）になったきっかけは？

高校から馬術を始めて「馬」という生物に興味を持ったことが最初です。それもあって北里大学の大学院まで進学したのですが、学位を取った時にアカデミアに就職先がなくてやめようと思いました。そんなとき、明治大学の加藤幸雄先生にポスドクとして拾ってもらったことから、諦めないで続けてみたら鳥取大学で教員になっていました。だから、一番のきっかけは加藤先生に出会ったことだと思います。

Q3 繁殖生物学会なのに生化学研究室所属なのですか？

獣医生化学研究室で学位をとっていたため、それが役立って鳥取大学で採用してもらえました。繁殖生物学会は加藤先生に連れて来てもらったのが最初でしたが、研究内容も大会も面白いので継続して参加しています。生化学出身だからか、アウトプットよりも何故そうなったのかを生化学的・分子生物学的に調べることが好きです。

Q4 メカニズムって考えるのが難しくないですか？

パズルのピースをはめる感じで面白いですよ。複数の実験結果がカチッとハマる「おおっ！」となります。ただ、予想とは逆の結果になることもあるので結論ありきにならないように気をつけています。

Q5 学生へのメッセージ

鳥澁がましいかもしれませんが、若いうちから実験手技を身につけるだけではなく、いろんな研究者の方と交流することが大切です。研究でも進路でも壁にぶち当たった時に誰かが助けてくれます（笑）。繁殖生物学会は特に間口が広いので積極的に参加・交流してください。あ、もし獣医系「生化学」兼「繁殖学」に興味があれば、是非学会等で声をかけてくださいね。鳥大院の博士課程とかどうですか？（笑）

鳥取大学農学部 共同獣医学科
獣医生化学研究室

[https://www.facebook.com/
tottori.vetbiochem/](https://www.facebook.com/tottori.vetbiochem/)

